静岡県森町 個別施設計画（トンネル）

【計画期間】令和元年～令和10年

【老朽化対策における基本方針】
・トンネルの劣化損傷が進み通行に支障が生じてから修繕するのではなく、「予防保全型」の手法を導入し、計画的に修繕していくことで、費用の縮減を図りながら構造物の長寿命化を目指す。

【新技術等の活用方針】
・トンネルの点検や修繕の新技術・新工法について、把握と活用に努め、事業費縮減と効率化を目指す。

【費用の縮減に関する具体的な方針（集約化・撤去を含む）】
・施設の長寿命化を図るためにライフコストサイクルの検討をし、修繕や定期点検において効果が見込まれる新技術を活用するなど、令和14年度までに約1百万円の費用縮減をめざす。
・集約化・撤去の検討を行った結果、管理する施設は山間部に位置しており、迂回路は起伏があり、距離は約5km（所要時間10分）あることから、通学でも利用しているなど社会活動等に影響を与えるため、集約化・撤去を行うことが困難である。今後、周辺の状況や施設の利用状況を踏まえて再度検討する。

【対策の優先順位の考え方】診断Ⅳ判定＞診断Ⅲ判定＞診断Ⅱ判定
診断Ⅳについては直ちに対策を行い、診断Ⅲについては点検実施から5年以内に対策を行うものとする。診断Ⅱについては重要度（利用性や被害波及性など）を考慮し、計画を策定。

令和８年１月更新

施設名	路線		建設年度	全体延長（m）	幅員（m）	等級	管理者	行政区域		所在地	点検計画（2巡目）					点検計画（3巡目）					点検記録				修繕計画							対策内容	対策費用（百万円）
トンネル名	路線名	道路種別 ・高速自動車国道 ・一般国道（指定区間） ・一般国道（指定区間外） ・都道府県道 ・市町村道						都道府県名	市区町村名		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	点検実施年度（１巡目） ・H26年度 ・H27年度 ・H28年度 ・H29年度 ・H30年度	判定区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ	点検実施年度（２巡目） ・R1年度 ・R2年度 ・R3年度 ・R4年度 ・R5年度	判定区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ	R2	R3	R3	R4	R5	R6	R7		
黒立隧道	町道一宮豊岡線	市町村道	1917	51.00	4.0	D	森町	静岡県	森町	一宮				○					○		H29年度	Ⅱ	R4年度	Ⅱ									